

※黒字 定型事項 消さないで下さい。

※赤字 注意事項 提出時は削除して下さい。

※青字 例文 適切なものを選択し、必要に応じ、研究に合わせて修正して下さい。

以下、本文

腹腔鏡補助下子宮筋腫核出術施行時の術中術後出血に対する緊急子宮動脈塞栓術の有用性ならびに挙児希望例での妊娠予後に関する後方視的検討

1. 研究の対象

- ① 2014年1月～2018年12月までに、腹腔鏡補助下子宮筋腫核出術を施行し、その後、2020年6月までに妊娠出産を行った症例。
- ② 当科で分娩までの経過が観察できた症例あるいは電話や電子メールで予後が解析できた症例。
- ③ 治療に対する患者の同意が得られたもの。

2. 研究目的・方法

当科では、挙児希望のある子宮筋腫症例に対して、腹腔鏡補助下子宮筋腫核出術（LAM）を施行してきた。術後の妊娠率は良好であったが、妊娠中の子宮破裂や癒着胎盤等も経験したことから、筋腫核出部の癒着の状態や胎盤異常の有無を妊娠中にMRIで検索し、周産期管理の一助とすることが可能かどうか検討する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2014年から2018年までに当科でLAMを施行し、その後に妊娠出産した22症例の後方視的観察研究。LAM後3ヶ月目と妊娠第2三半期の初期にMRI（1.5T）を施行した。読影は放射線科に依頼し、その所見を参考にしながら周産期管理を行った。これらの治療を受けた患者の臨床的背景や帝王切開術分娩の成績の後方視的観察研究を行った。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

※現在掲示中の情報公開文書から、Copy & Pasteして下さい。

(少なくとも、「住所」、「電話」、「担当者の所属・氏名」は記載のこと)

研究責任者：
岐阜県立多治見病院産婦人科 竹田明宏

-----以上